

地域公共交通活性化協議会について

平成30年4月17日(火)

第1回岩手県地域公共交通活性化協議会県北地域部会

1 本県の公共交通の状況

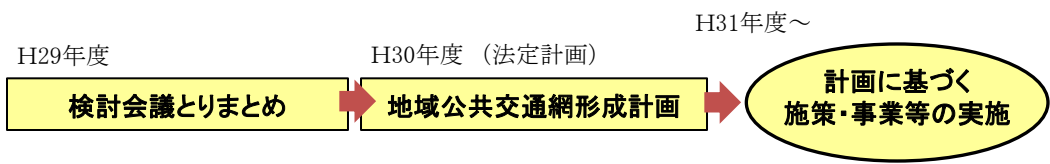
- (1) 本県の地域公共交通は、「利用者の減少」が依然として続き、それに伴い事業者の「収支が悪化」。路線の減便や休廃止が進み、車両・施設などへの必要な設備投資ができないなど「サービス水準や利便性が低下」。これが「更なる利用者の減少」につながる「負のスパイラル」が発生。今後の公共交通の持続性に大きな懸念が生じている。
- (2) 一方、高齢化の進展や広大な県土を抱える本県の状況から、県民の日常の移動や生活を支える地域公共交通の役割は今後一層重要性を増すものと認識。本県における持続可能な地域公共交通を再構築するための取り組みが喫緊の課題となっている。

持続性への懸念

- ① 続く「負のスパイラル」:利用者減⇒路線収支悪化⇒利便性低下⇒利用者減……
(利用者:H18 24,451千人⇒ H28 16,430千人(▲8,021千人、▲33%))
- ② 非効率路線拡大:(例)国庫補助路線 県南A線⇒平均乗車密度 1.5人etc
- ③ 厳しさを増す事業環境: 主要3社乗合事業収支 H23▲365百万円⇒H28▲680百万円
- ④ 被災地国庫補助特例終了(H32年度まで):H29国庫47路線中、16路線(約3割)要件割れ

2 岩手県地域公共交通活性化検討会議

- (1) 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向けて、県が中心となって関係者による「岩手県地域公共交通活性化検討会議」を設置し、地域公共交通のあり方や活性化に向けた方策等の検討を実施し、その検討結果をとりまとめた。
- (2) 検討会議のとりまとめに基づき、平成30年度に全県の公共交通係のマスタープランとなる「岩手県地域公共交通網形成計画」を策定する。



3 地域公共交通網形成計画とは

- (1) 「地域にとって望ましい公共交通のすがた」を明らかにする「マスタープラン(基本計画)」となるもの。
- (2) 地方公共団体(県・市町村)が中心となって、まちづくりと連携し、面的な公共交通ネットワークの再構築を行うため、公共交通事業者や利用者、有識者等と協力して策定する。
- (3) 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき策定する法定計画であり、国土交通大臣等への送付が必要となる。

「岩手県地域公共交通網形成計画」策定し、計画を実施するための法定協議会「岩手県地域公共交通活性化協議会」の設置が必要

4 計画策定の体制

- (1) 岩手県地域公共交通活性化協議会 32名
- (2) 地域別部会(主に市町村との検討・協議等を目的に地区ごとに開催する。)
- (3) 計画策定ワーキング(主にバス事業者との検討・協議等を目的とする。)

5 スケジュール(案)

地域部会を開催した上で協議会を開催予定。

| 年月 | 内容等 |
|---------|-----------------------------|
| 平成30年4月 | 第1回協議会(会議の設置、現状と課題、スケジュール等) |
| 5月～8月 | |
| 9月 | 第2回協議会(基本方針・目標、主要な施策・事業等) |
| 10月 | |
| 11月 | 第3回協議会(計画素案の検討等) |
| 12月 | |
| 平成31年1月 | 第4回協議会(計画案の検討等) |
| 2月 | パブリックコメントの実施 |
| 3月 | 第5回協議会(計画の承認等)・国土交通大臣へ計画の送付 |

岩手県地域公共交通活性化協議会 委員構成(案)

1 協議会 【事務局】岩手県政策地域部交通政策室地域交通担当

| | 構成分野 | | 所属・役職等 | 備考 |
|----|---------|-----|-----------------------------|------|
| 1 | 行政 | 国 | 国土交通省東北運輸局 交通政策部長 | |
| 2 | | 市町村 | 盛岡市建設部交通政策課 課長 | 盛岡地区 |
| 3 | | | 葛巻町総務企画課 課長 | 盛岡地区 |
| 4 | | | 一関市まちづくり推進部まちづくり推進課 課長 | 県南地区 |
| 5 | | | 金ヶ崎町商工観光課 課長 | 県南地区 |
| 6 | | | 陸前高田市企画部まちづくり戦略室 室長 | 沿岸地区 |
| 7 | | | 山田町復興企画課 課長 | 沿岸地区 |
| 8 | | | 久慈市総合政策部地域づくり振興課 課長 | 県北地区 |
| 9 | | | 一戸町総務部まちづくり課 課長 | 県北地区 |
| 10 | 公共交通事業者 | 鉄道 | 東日本旅客鉄道(株)盛岡支社 | |
| 11 | | | 三陸鉄道(株) 旅客サービス担当部長 | |
| 12 | | | IGRいわて銀河鉄道(株)営業部 首席課長 | |
| 13 | | バス | 岩手県交通(株)乗合自動車部 次長 | |
| 14 | | | 岩手県北自動車(株)営業本部乗合事業部 部長 | |
| 15 | | | ジェイアールバス東北(株)盛岡支店 支店長 | |
| 16 | 交通事業関係者 | | (公社)岩手県バス協会 専務理事 | |
| 17 | | | (一社)岩手県タクシー協会 専務理事 | |
| 18 | | | 岩手県交通運輸産業労働組合協議会 議長 | |
| 19 | 道路管理者 | | 国土交通省東北整備局岩手河川国道事務所調査第二課 課長 | |
| 20 | | | 岩手県県土整備部道路環境課 総括課長 | |
| 21 | 公安委員会 | | 岩手県警察本部交通部交通企画課 課長 | |
| 22 | 公共交通利用者 | | (一財)岩手県老人クラブ連合会 事務局長 | |
| 23 | | | 岩手県高等学校PTA連合会 事務局長 | |

| | 構成分野 | 所属・役職等 | 備考 |
|----|-------|-------------------------------|-----|
| 24 | 学識経験者 | 岩手大学理工学部 教授 南正昭 | |
| 25 | | NPO法人いわて地域づくり支援センター 常務理事 若菜千穂 | |
| 26 | 観光関係者 | (公財)岩手県観光協会 観光振興部長 | |
| 27 | 岩手県 | 岩手県政策地域部 交通政策室長 | 副会長 |
| 28 | | 岩手県政策地域部交通政策室 地域交通課長 | |
| 29 | | 盛岡広域振興局経営企画部 企画推進課長 | |
| 30 | | 県南広域振興局経営企画部 企画推進課長 | |
| 31 | | 沿岸広域振興局経営企画部 企画推進課長 | |
| 32 | | 県北広域振興局経営企画部 企画推進課長 | |

2 地域別部会 【事務局】岩手県政策地域部交通政策室地域交通担当

| | 構成分野 | 所属・役職等 | 備考 |
|---|-------|----------------------------|-------|
| 1 | 国 | 国土交通省東北運輸局岩手運輸支局 首席運輸企画専門官 | 部会長代理 |
| 2 | 市町村 | 各市町村公共交通担当課長 | |
| 3 | バス事業者 | 岩手県交通(株)乗合自動車部 次長 | |
| 4 | | 岩手県北自動車(株)営業本部乗合事業部 部長 | |
| 5 | | ジェイアールバス東北(株)盛岡支店 支店長 | |
| 6 | 岩手県 | 岩手県政策地域部交通政策室 地域交通課長 | |
| 7 | | 岩手県政策地域部交通政策室 特命課長 | |
| 8 | | 各広域振興局経営企画部 企画推進課長 | 部会長 |

※ 盛岡・県南・沿岸・県北地区ごとに開催
※ 必要に応じて鉄道事業者や有識者等がオブザーバー参加